

ストップ温暖化センターみやぎ「通信」Vol.21



水道凍結防止電熱線の省エネについての調査開始

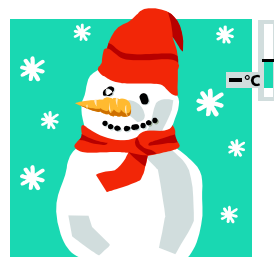
センターでは東北地方で冬季に利用されている水道凍結防止用電熱線の普及状況について調べました。現在、鶯沢町、鹿島台町、七ヶ宿町、仙台市、東和町の5つの自治体の協力を得て、12月～1月の2ヶ月間、モニター50世帯で実態と省エネ装置を用いた際の電気使用量削減量の調査を行っています。

皆さんのご家庭では水道凍結防止のヒーターをお使いでしょうか。もしたくさん使っているようであれば、大きな省エネのチャンスです。

今回用いる省エネ機器についての詳細はセンターまでご相談ください。



温度センサーにより、気温 2 以下にならないと電源が入らない仕組み。



県内各地で地球温暖化問題についての普及啓発を実施



中田町町民文化祭での展示

ストップ温暖化センターみやぎや、宮城県地球温暖化防止活動推進員が、宮城県内各地で行われる市民祭りや町民文化祭などで、待機電力がある電気製品や電気をたくさん使う電気製品を紹介しています。また、自転車発電を使ってエネルギーの大切さを実感してもらうアトラクションも実施しています。

県民の方と直接コミュニケーションをとることで、省エネについてどれだけ知られているのかなどの状況が把握できました。市町村と連携し、市民が親しみやすいイベントに参加することで、地域の方に地球温暖化問題や省エネルギーについて知ってもらい、行動へのきっかけづくりにもなっています。今後も県内各地でこうした機会をとらえて参加・協力したいと思います。

9/5 仙台市エコフェスタ

MELON ブース展示に推進員が協力。
環境家計簿の紹介

10/3 柴田町町民祭り

推進員の木幡氏らが省エネ型電球などの展示を実施

10/17 仙台市若林区区民祭り

仙台市地球温暖化対策推進協議会の展示にセンター、推進員が協力

10/30、31 中田町町民文化祭

町に推進員の千葉さんが協力、展示を実施

11/3 田尻町町民文化祭

町に門田理事およびセンターが協力、自転車発電の実施



自転車発電でエネルギーを自分で作ることの大変さを実感（田尻町町民文化祭にて）